

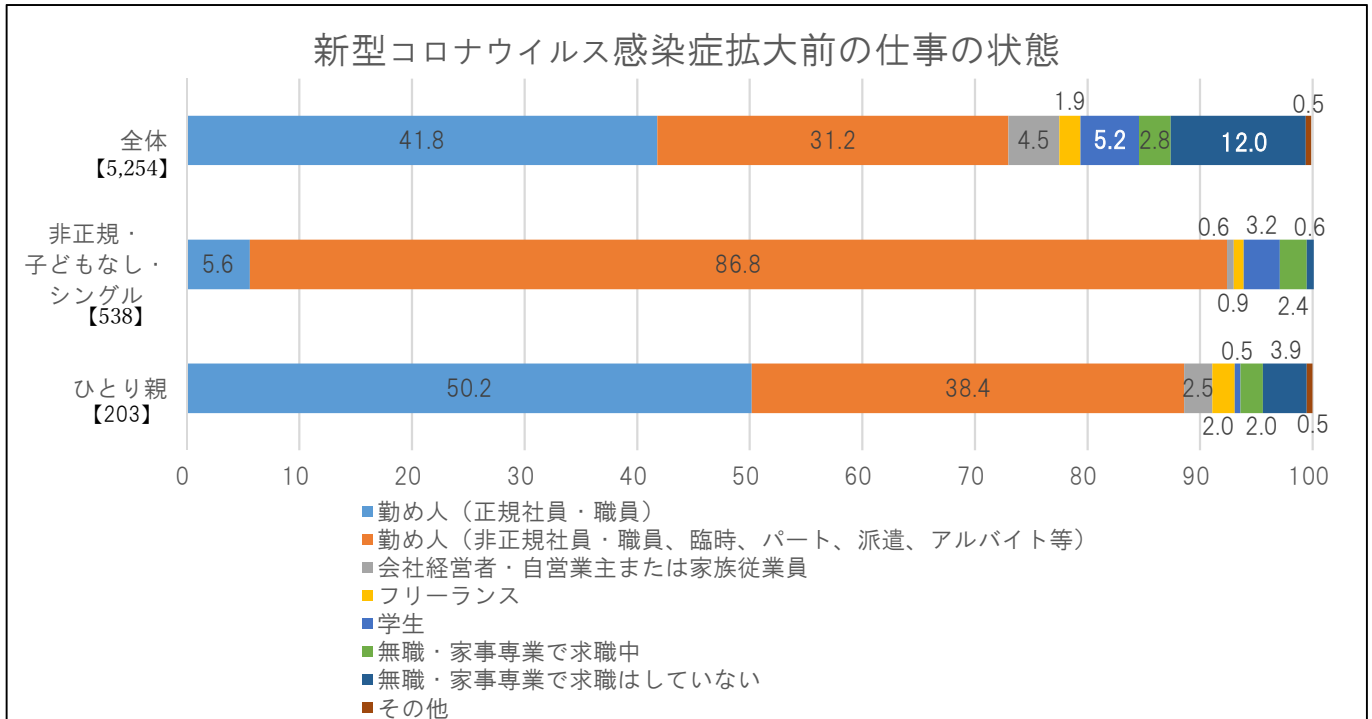
ウィズコロナにおける女性の生活・就労等実態調査

【非正規・子どもなし・シングル女性とひとり親女性との比較】

ウィズコロナにおける女性の生活・就労等実態調査結果の中から、コロナ禍において特に困難な状況におかれていると思われる「非正規・子どもなし・シングル女性」と「ひとり親（シングルマザー）」の調査結果について抜き出し、調査結果の比較を行う。

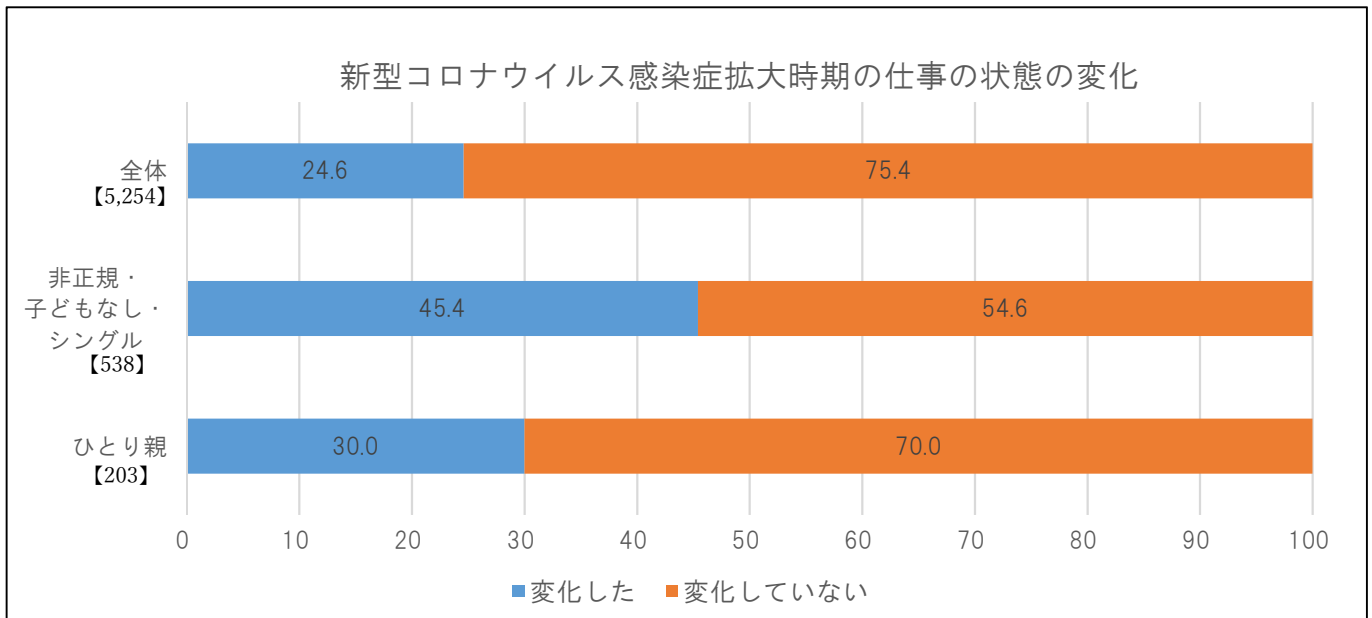
1. 新型コロナウイルス感染症拡大前の仕事の状態について

コロナ前の仕事の状態は、ひとり親女性では約5割が正規社員・職員として働いており、全体と比較して8.4ポイント高くなっている。



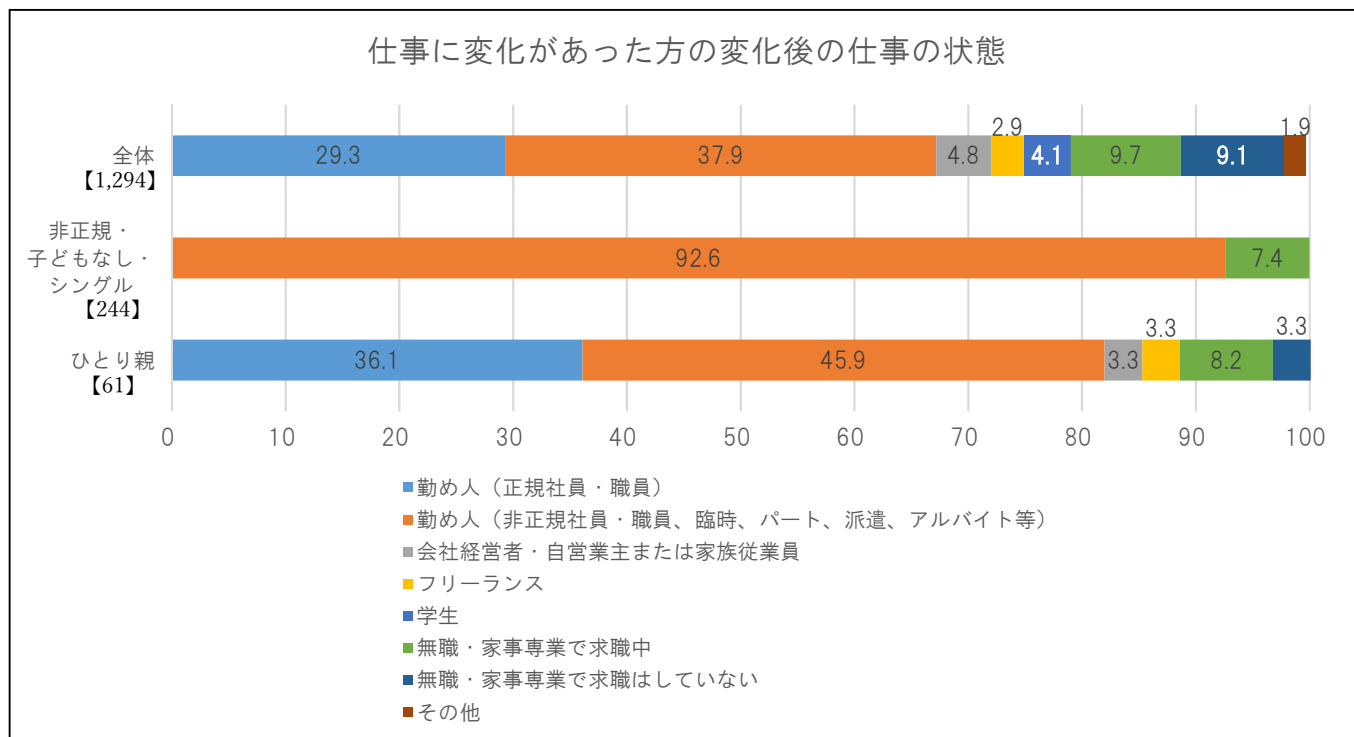
2. 新型コロナウイルス感染症拡大時期の仕事の状態の変化について

コロナ前後の仕事の状態について、非正規・子どもなし・シングル女性は半数近くが変化したと回答しているが、ひとり親女性は3割となっている。



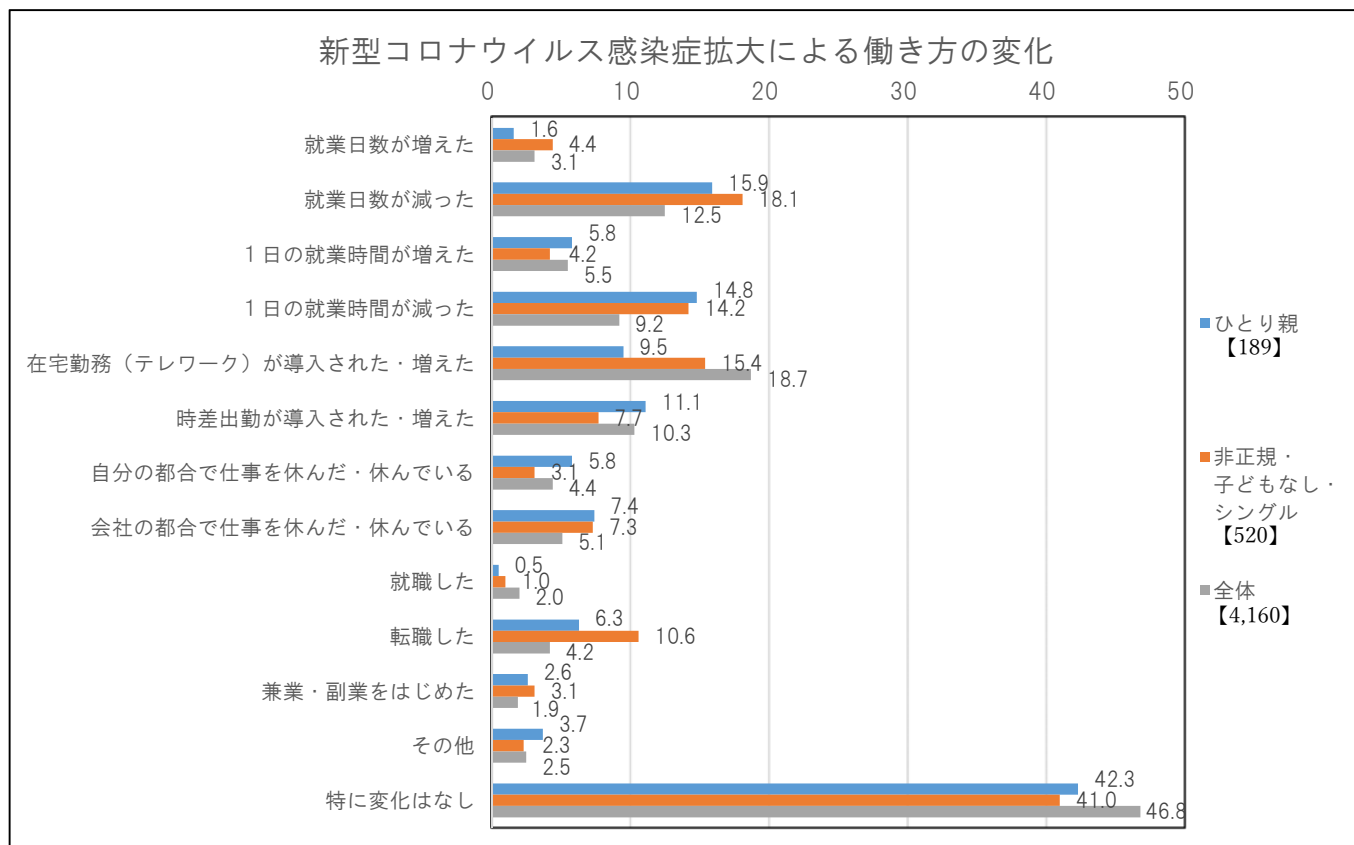
3. 仕事の状態が変化した人の現在の仕事の状態

コロナ前後の仕事の状態に変化があった方の現在の仕事について、ひとり親女性は全体と比較して「勤め人」になる方が多く、14.8 ポイント高くなっている。



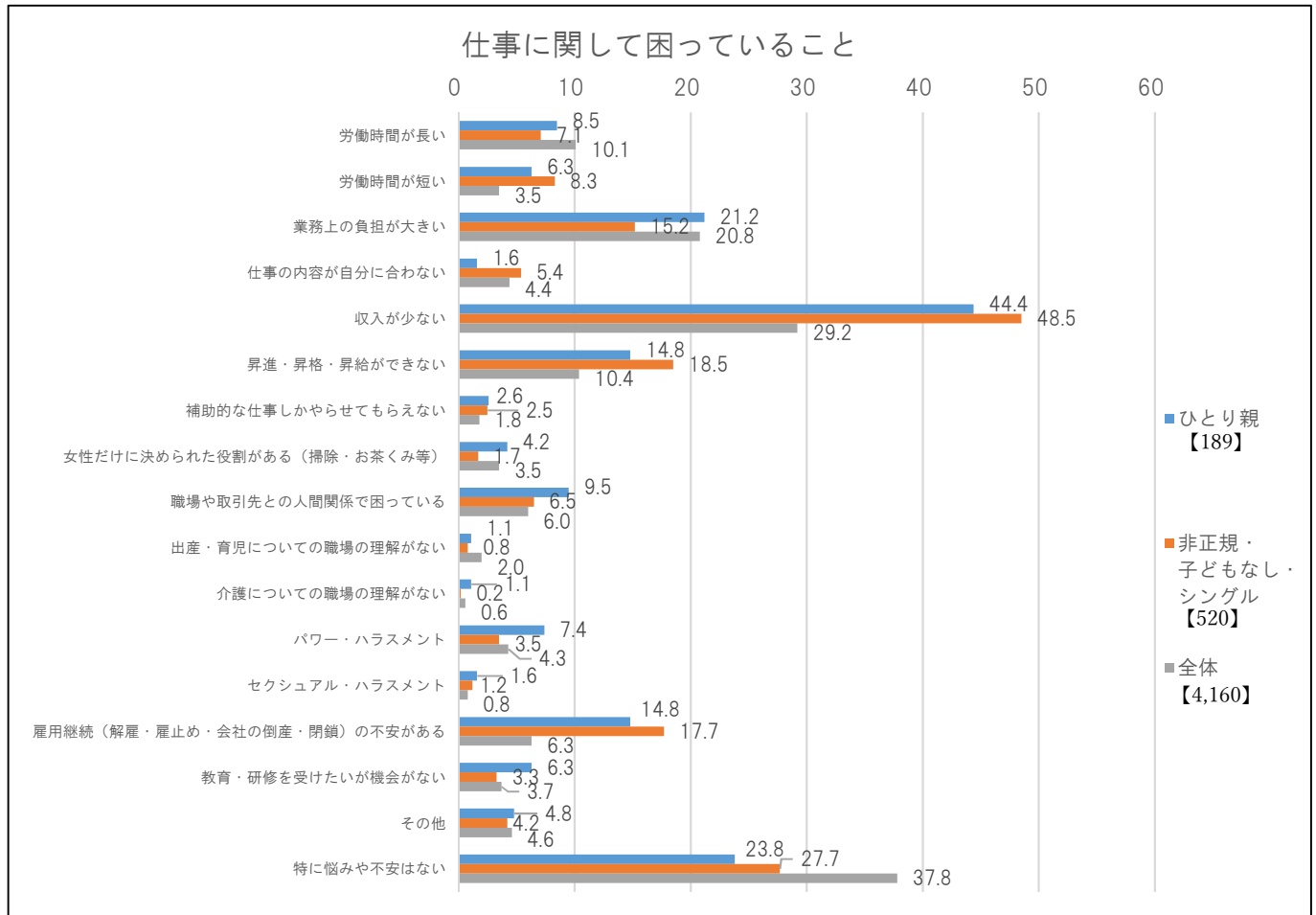
4. 新型コロナウイルス感染症拡大による働き方の変化

新型コロナウイルス感染症拡大による働き方の変化では、就業日数や就業時間が減った、会社の都合で仕事を休んだと回答した人が全体と比べて多く、収入の減少につながるマイナスの影響を多く受けている。



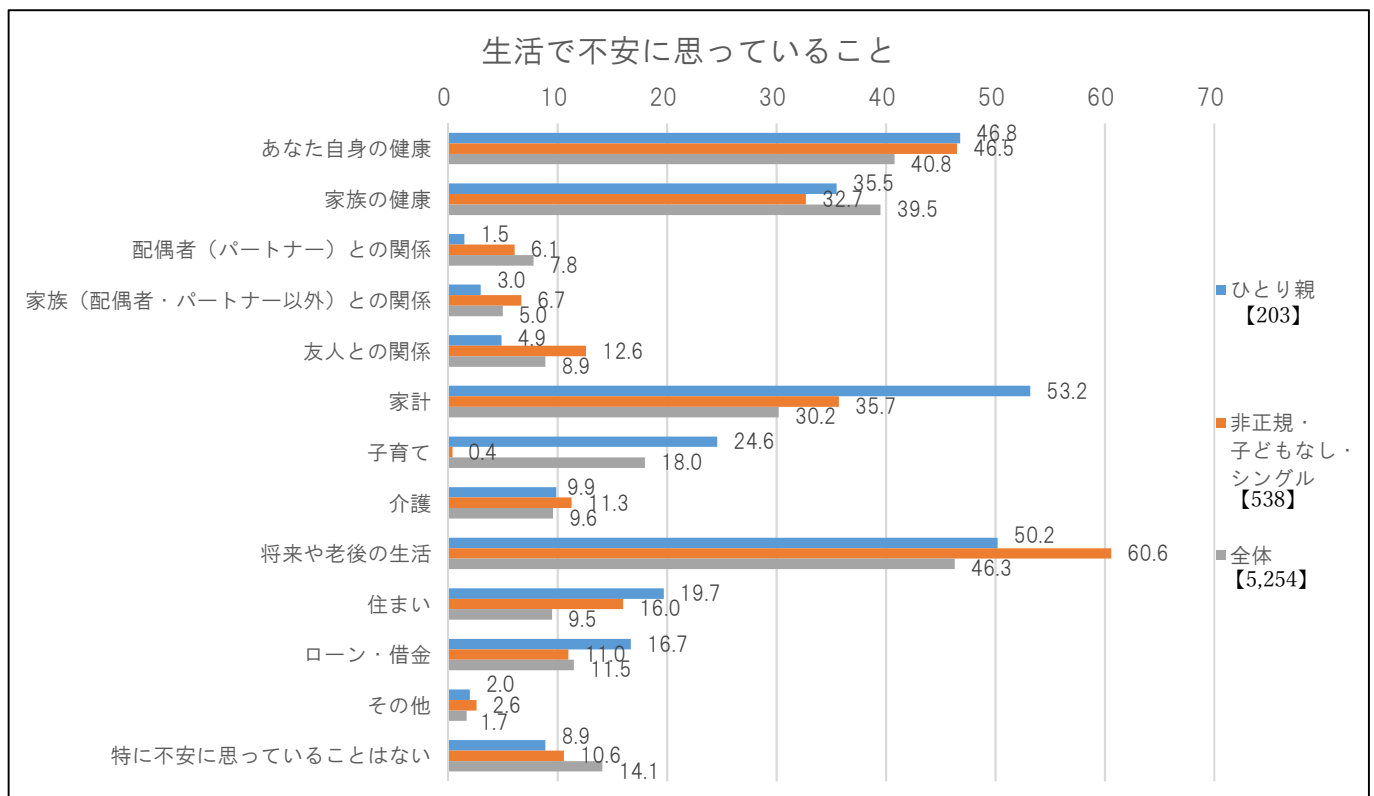
5. 仕事に関して困っていること

仕事に関する困りごとでは、収入に関する困りごとが全体と比べて高くなっている。



6. 生活で不安に思っていること

ひとり親女性では5割以上が家計に関して不安に思っており、非正規・子どもなし・シングル女性は将来や老後の生活に6割以上が不安に思っている。



7. 今後の希望・目標

上記の様々な困りごとと同様に収入に関する希望が高くなっており、6割以上となっている。

